

富士山の鳥類

富士山は日本有数の鳥類の繁殖地としてよく知られています。また富士山は、日本の中央部に位置することから、日本を代表するような鳥類が多く見られることも特徴です。さらに、独立峰の高山であり標高差がとても大きいので、標高ごとに生息する鳥類が異なっており（垂直分布）、富士山に登れば、麓から山頂に至るまで高度を増すにつれて出会う鳥類が違っていくのをはっきりと

ホシガラス

ハトに比べてわずかに大きく、体色は全体的に黒茶色で、白い斑点が縞をなしているのが特徴で雌雄同色です。富士山では森林限界周辺に生息しており、富士スバルライン四～五合目にかけてよく見られます。鳴き声は美しくなく、グーグーと鳴きます。主にシラビソ、コメツガ、ゴヨウマツなどマツ科の種子や実を食べます。



キクイタダキ

スズメに一回り小さくした日本で最も小型の鳥です。頭の頂きに黄色い小菊をのせたような模様が特徴で、これが名前の由来（頭に菊を頂く）になっています。富士山ではシラビソやコメツガなどの亜高山針葉樹林が主な生息場所で、冬季には低地に移動します。針葉樹の上層部を頻繁に移動しながら、枝や葉に潜む昆虫類を捕食します。



オオルリ

ほぼスズメ大の鳥。雄成鳥は背面が青色で光沢があり美しく、喉や顔は黒色で腹部は白いのが特徴です。雌成鳥は背面が茶褐色で喉と腹は白く、地味な色合いでいます。富士山でも山地帯を中心に落葉広葉樹林やアカマツ林などに広く生息しています。ウグイス、コマドリと共に日本三鳴鳥と言われ、雄の鳴りの美しさは格別で、ヒリーリーピールリジィとも聞こえます。



草原

オオジシギ

シギの仲間では大型の鳥。大きな草原を生息場所としており、日本各地で個体数が減少している希少な鳥です。富士山周辺でも大きな草原に限って生息し、梨ヶ原（北富士演習場）は著名な生息場所の一つです。繁殖期に雄が見せる求愛飛行は実にユニークで、「ズビヤーク、ズビヤーク、ズドドド！」とけたたましく鳴きながら草原上空を飛行し、別名「カミナリシギ」とも呼ばれています。



ノビタキ

ほぼスズメ大の鳥。雄成鳥の夏羽は頭部から背面にかけて黒く、腹面は白色です。主な生息場所は草原で、富士山でも梨ヶ原（北富士演習場）や朝霧高原などの広大な草原に多く見られます。草原の中のススキの穂先や低木の突出した枝などに止まり、そこから出撃して昆虫類などを捕えます。このユニークな採食法のために草原の中では目立つ鳥の代表です。



富士山クイズ

- Q4: 富士山の雪が流れるることを何という？
 ①雪崩 ②雪しきろ ③伏流水
 (答えは12ページ)

観察できます。

山麓部には森林、草原、湖沼など様々な自然環境が見られ、そこにも多様な鳥類が生息しています。以下、富士山の標高や環境ごとの代表的な鳥類を紹介しましょう。

イワヒバリ

スズメよりやや大きく、上半身は灰色で、喉の部分に白い斑点があり、下半身は赤褐色をしています。富士山では森林限界周辺やその上部まで生息しており、名前のように岩場地帯でよく観察できます。繁殖期には群れでなわばりを作り、数羽の雌がそれぞれ巣を作り、数羽の雄と協同でヒナを育てるという珍しい繁殖（協同多夫多妻制）を行なうことが知られています。



ルリビタキ

ほぼスズメ大の鳥。雄の成鳥は頭部から上面にかけて青色の羽毛に覆われ美しいですが、雌成鳥は全体的に淡い褐色で地味な色合いでいます。富士山を代表する鳥の一種であり、亜高山帯を中心広く生息しています。繁殖期間は5～8月で、この間雄はよく囁り、ビチチュリ チュリリ…（ルリビタキだよ）と聞こえます。



キビタキ

ほぼスズメ大の鳥。雄成鳥は頭部から背面にかけて黒く、腹と腰は黄色で、喉が美しい橙黄色をしています。雌成鳥は上面が褐色で腹は淡い白色で地味な色合いでいます。富士山を代表する夏鳥の一種で、山地帯を中心に各種樹林に広く生息しています。雄の囁りはとても美しいですが、地域ごとに囁り方が違っていてとても興味深いです。



高原

アカハラ

ほぼツグミと同じ大きさの鳥。胸部から腹部側面にかけて橙色の羽毛で覆われ、名前の由来になっています。富士山を代表する鳥類の一種であり、山麓部の高原から亜高山帯に至るまで広く生息しており、特に木が疎らにある環境（別荘地帯など）や明るい林などを好みます。雄は繁殖期の朝方や夕暮れに「キヨロン、キヨロン、ツイー」とよく囁ります。



湖

ミコアイサ

雄の眼のまわりや後頭部に黒い斑紋があり、バンダみたいな顔をしているので通称「バンダガモ」と呼ばれています。日本には越冬のために飛来する冬鳥です。富士山周辺では富士五湖の山中湖、河口湖などで冬季に観察することができます。湖のように水深があり広い水域を好み、湖面を泳ぎながら、潛水して先が鍵状のくちばしで魚を鋏く捕え食します。



富士山クイズ

- A3: ②スパイラカル
 滲岩洞穴の種類としてはフィーディングパイプ型、ブリスター型、スパイラカル型、ブレッシャーリッジ型、溶岩樹型等があります。水分が急激に水蒸気化し、小爆発的に溶岩流を突き抜けたものは「スパイラカル」、お餅がふくらんだようにできた溶岩のゆるやかなふくらみは「ブリスター」、溶岩が固まる際に溶岩の表面が左右方向の圧力で持ち上げられたものは「ブレッシャーリッジ」と呼びます。